

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233112106	教育原理 Principles of Education	小野 憲一			2	選択	1後期

科目の概要

本授業では、DP(7)に当たる「生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる」をベースに、教員としての資質能力の育成を目指し、教育史全般に関わる基本的内容を取り上げる。その内容については、本授業者が教員時に実践してきた内容を加味しながら現代教育の問題点を洗い出し、教育の根本となる原理、原則、目的や方法について理解する。そして、現代に至るまでの教育の歴史的な変遷を概観した上で、現代教育の成立や教育、教師、子ども、家族、地域社会など多様な視点から考察する。さらに、現代の教育をめぐる多様な課題に関する理解を深め、現代の教育や教員にどのような役割が求められているのかについて学ぶ。担当教員は、高校の教員として勤め、実務経験を活かし具体的な事例を紹介しながら授業を行う。

学修内容	到達目標
① 教育史全般を通して、教育の本質・目的・概念に関する基礎的な知識を習得する。 ② 教育の歴史的変遷の学習を通して、過去から現在までの時間的連続性の中で現代の教育の位置づけ、特徴や課題、求められる教育等について理解する。 ③ 学習指導要領と現代教育に関わる学修内容を実践的な視点に重ね合わせて考える。 ④ 教育に関わる理論や思想について学習し、資料活用にICTを取り入れながら考察できる。	① 教育の本質・目的・概念を教育史を代表する人物の考え方や特徴を理解することができる。 ② 時間的連続性の中で、実践されてきた現代教育に至るまでの特徴や課題、求められる教育等を理解することができる。 ③ 学修内容の獲得に加え、自分自身の被教育経験を活用し、自分自身の課題を解決することができる。 ④ 教育に関わる理論や思想について学習し、資料収集や授業内容にICTを取り入れ活用することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自分自身の被教育経験や実生活を様々な関心と結びつけながら、学修活動に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分自身の思いや考えに沿って目標設定を行い、最後まで諦めることなく学修活動に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題だけでなく、自分自身で新しい課題を見つけ出すことができる。
	計画力	
	創造力	学修課題等に対して、柔軟で多様な考えや意見を持って、取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループ討論や全体発表会等において、自分自身の考えや意見を整理し、表現することができる。
	傾聴力	グループ討論や全体発表会等において、自分自身の考えや意見と他者の考えや意見を比較しながら、より深い考え方をすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻や私語等、授業に支障と考えられる行為は、自分私人で自粛し、円滑な学修活動を心がけることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『やさしく学ぶ教職課程 教育原理』古賀毅 編著 学文社 2021年
 参考文献：授業時に適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

本科目「教育原理」は、教職科目として配置され、同年の「教職入門」と併せて基礎的理解を図り、その後に履修する「教育方法論」「教育課程論」「総合的な学習の時間の指導法」において、専門的理解を深め、「教育実習」における実践的理解へし発展させていく。
 関連する資格：栄養教諭一種、中学校及び高等学校家庭科教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
・毎時間の授業におけるグループ討論や全体発表会等では、積極的な意見交換や交流を心がけると良い。 ・毎時間の学修内容は、しっかりと予習・復習において関連する情報収集を積極的に行い、理解を深めておくとう良い。	・毎時間で配布する学修資料はファイルしておき、忘れた時には出席者にコピーをもらう。または担当教員から受け取る。 ・毎時間の授業開始時には、携帯電話の電源を切り態勢を整え、授業に集中する気持ちの切り替えをする。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓			・評価にあたって重視する観点は、以下の3点である。 ①講義内で扱った用語・理論・概念が理解できているか。 ②講義内に扱った理論を学校現場・教育の実践に当てはめて考えることができるか。 ③授業の内容について、自分自身考えの意見を持つことができるか。
				②	✓			
				③	✓			
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	20	①	✓			・毎時間の授業の振り返りシートや小レポートにおける提出課題内容を点数化し合計する。また、最終の授業において最終レポートを実施し回収し、条レポートと合わせて総合的に評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
				④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）学修課題を自分自身の経験や関心に引きつけながら取り組むことができる。 （実行力）明確な目標設定を行い、それに向かって根気よく諦めずに取り組むことができる。 （課題発見力）自分自身に与えられた以外の課題にも目を向け、自分自身の中に取り入れ発展させることができる。 （創造力）他者の考えや意見を柔軟に受け入れ、多様な学修活動に取り組むことができる。 （発信力）自分自身の考えや意見を整理し、相手に分かり易く伝えることができる。 （傾聴力）相手の考えや意見を受入れ、自分自身の考えや意見を深めることができる。 （規律性）授業内における遅刻や私語を自粛し、円滑な学修活動を自分自身で作り出すことができる。	
			②					
			③					
			④					
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・最終レポートにおいて、論点を明確に整理して自分自身の考えや意見を論理的に記述できている。 ・小レポートにおいて、毎時間の授業の要点を的確に整理し、自分自身の考えや意見をまとめることができている。 ・グループ討論や全体発表において、他者の考えや意見を受入れ、多角的多様な考えを表現することができている。 ・毎時間の授業において、積極的に学習活動の内容を高めてく積極的な態度の姿勢ができている。 ・提出物等の取り組みにおいて、学修を深めていこうとする姿勢と成果が確実に示されている。	・最終レポートにおいて、論点を踏まえて自分自身の考えや意見が記述できている。 ・小レポートにおいて、当該授業の内容に触れて自分自身の考えや意見を振り返ることができている。 ・グループ討論や全体発表において、自分自身の考えや意見を整理して表現することができている。 ・毎時間の授業参加において、自分自身を自制した態度で学修活動に取り組むことができている。 ・提出物の取り組みにおいて、提出期限を守って進めている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	・本授業の全体概要と進め方、留意事項を理解する。 ・「教育原理」の「原理」とは、その目的と本質を理解する。 ・Classroomの活用方法を確認する。 (諸連絡・情報の共有等)	・ガイダンス ・講義 ・グループ討論 ・質疑応答	・本授業の全体目的、進め方、留意点を理解することができる。	(予習) シラバスに目を通し、本科目の概要を理解する。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	課題発見力 傾聴力 規律性
2	・教育の制度はどのように構成されているかを理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・教育制度の構成要素や教育政策・教育行政等の制度的内容を理解することができる。	(予習) テキストの学修範囲を熟読し、内容を理解しておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
3	・教育の歴史と理念 (1) 欧米における教育(前近代・公教育)の内容・形成・変容を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	(予習) 欧米諸国における教育制度はどのようなものかを念頭に考えながら歴史的経緯を理解しておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
4	・教育の歴史と理念 (2) 日本における教育(前近代・公教育)の内容・形成・変容ならびに家庭教育・社会教育の内容を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	予習) 日本における教育制度はどのようなものかを念頭に考えながら歴史的経緯を理解しておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	課題発見力 創造力 規律性
5	・教育の思想：西洋教育史 (1) 西洋における教育思想家や教育者はどのようなものであったかその思想に触れながら理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	(予習) エラスミス・ルター・コメニウス・ロック・ルソー・ペスタロッチ等の思想家や教育者の教育業績を調べておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	課題発見力 傾聴力 規律性
6	・教育の思想：西洋教育史 (2) 西洋における教育思想家や教育者はどのようなものであったかその思想に触れながら理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	(予習) コンドルセ・ヘルバルト・エミール・シュタイナー・デュイ等の思想家や教育者の教育業績を調べておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	課題発見力 傾聴力 規律性
7	・教育の思想：日本教育史 (1) 日本における教育思想家や教育者はどのようなものであったか明治時代以前の教育思想に触れながら理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	(予習) 聖徳太子・空海等の教育業績や寺子屋・藩校などにおける教育内容を調べておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	課題発見力 傾聴力 規律性
8	・教育の思想：日本教育史 (2) 日本における教育思想家や教育者はどのようなものであったか大正時代以降の教育思想に触れながら理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	(予習) 澤柳政太郎の教育業績や大正自由教育の教育内容を調べておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	・子どもの発達とその支援：発達の考え方 (1) 人が誕生してから児童期・青年期に至るまでの段階的特徴と支援の在り方を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	(予習) 児童期から青年期までの発達段階での特徴と支援はどのようなものであるかを調べておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
10	・子どもの発達とその支援：発達の考え方 (2) 障害のある児童・生徒を主な対象とした特別支援教育における特徴と支援の在り方を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	(予習) 特別支援教育・インクルーシブ教育の内容を調べておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
11	・学校教育の今日的な課題を内面から考察 教育課程における編成・学習指導要領・教科を鳥瞰的に捉え、その意義と内容を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	(予習) 教育における各領域や分野の制度や内容などがどのような仕組みになっているか調べておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
12	・学習指導要領と「道德教育」の歴史経緯と展望 日本の道德教育の歴史を明治時代から現代に至る内容を学習指導要領を読み解いてその経緯と内容を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	(予習) 「道德教育」が歴史的経緯による「特別の教科」である「道德」が成立された経緯を調べておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
13	・「特別活動」が各教科と並び、重要かつ固有の領域であることを鑑み、その構成内容と内容がどのようなものかを理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	(予習) 「特別活動」が重要かつ固有の領域である内容を調べておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
14	・「キャリア教育」の目的と方法 「キャリア教育の現代的意義と今後の展望について、歴史的経緯を踏まえつつその意義と意味・内容を理解する。」	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	(予習) 「キャリア教育」の前身としての職業教育・進路指導との関連を意味付け内容を調べておく。 (復習) 振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
15	・教育の理念・歴史・思想を学修し、現代における「教育とは何か」「教育は如何にあるべきか」などの問題意識を総合的に理解する。教育時事関連の課題を出題し、それについて今まで学修した内容を含めながらレポート課題を提出しもらう。第7週目にその内容を教示する。なお、この課題の提出をもって出席とみなす。	・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の学修内容において重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かり易くまとめて記述し、発表することができる。	(予習) 授業の総括に関するワークシートに取り組む。 (復習) 最終レポートに向けての準備に取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力